

東京大空襲・戦災資料センターの資料を読む会 第14回
証言映像シリーズ 上映&シアタートーク
『ヒロシがいた橋』

証言 星野弘 / 上映 21分 / 公開 2015年3月

講師 山本唯人

東京大空襲・戦災資料センター主任研究員
本作品考証

期日 2015年5月14日(木) 18:30-20:30

入館協力費・資料代 500円(維持会員は資料代のみ200円)

主催・場所 東京大空襲・戦災資料センター

共催 東京大空襲・戦災資料センターの資料を読む会



- ・東京大空襲を体験し、空襲犠牲者の名前を残す活動を続けてきた星野弘さん。その情熱の背景にあった原体験を、少年時代の「ヒロシ」にたずねます。
- ・ヒロシが少年団のラッパ手となり、英霊を出迎えていたのが墨田区・北十間川にかかる十間橋。住民が何も知らずに行きすぎる橋の風景と、星野さんが小声で口ずさむラッパの音色は何を物語るのか。
- ・下町・工場街に暮らす少年の目を通して見た、現代史の証言です。
- ・作品の上映後、研究員の解説、感想の交流などを行います。